

「（仮称）苓北風力発電事業環境影響評価準備書」に関する熊本県  
環境影響評価審査会意見

標記準備書の内容を環境保全の専門的見地から審査した結果、環境影響評価書の作成及び事業の実施に当たっては、以下の事項に十分配慮する必要がある。

**[全体事項]**

- (1) 沈砂池の設計等にあたっては、過去の雨量の観測記録を十分考慮したうえで検討すること。

**[動物・植物・生態系]**

〈動物（鳥類）〉

- (1) 風力発電機 8 号機、9 号機の設置予定場所周辺では、ブレード回転域を含む高度とは異なるものの、サシバの飛翔が多く確認されているため、ブレード塗装やシール貼付等の鳥類からの視認性を高める措置のほか、最新の知見等を収集し、バードストライク防止対策を検討すること。

〈動物（昆虫類）〉

- (1) 改変区域内でヒメボタルが確認されていることから、生息に適した暗い環境を維持できるよう、この区域における伐採面積の最小化について検討すること。

〈植物〉

- (1) 植物の移植について、移植時期や場所等を具体的に検討すること。また、事後調査において、移植した植物の定着を十分に確認できなかった場合は、継続した調査を検討すること。